

平成28年度 大阪大学 教員免許状更新講習＜必修領域＞

全ての受講者が受講する領域

「教師に必要な新たな気づきと 元気の共有」

自らの教師経験を振り返りつつ、学校教育に関する新たな知見や気づきを、さまざまな媒体・資料を通して獲得し、かつ実践的な演習を通して、具体的な実践的力量をはぐくみ、明日からの教師生活に有益な元気と活力の育成を目指します。

なお、この講習は対面型でもさらにワークショップなどの、いわゆる参加型の演習を取り入れた方式の講習であることを理解されて申し込んでください。

対象者 全教諭

開講日時 7/30(土)9:30 ~ 17:30
※テスト時間含む

定員 30名
(最少～最大定員:10～30名)

時間数 6時間

受講料 6,000円

場所 大阪大学 吹田キャンパス
人間科学研究科

※ 講習の詳細内容、スケジュールは裏面参照。

「大学の教師は学校現場を知らない」とは言わせない！
(と大きな態度と小さな声で伝えたい by 阪大・人間科学部スタッフ一同)

(注意)

講習内容はやむを得ず変更することがあります。

講習の申し込み期間は平成28年5月19日～5月24日です。

※先着順受付ではありません。修了確認期限が平成29年3月末の方を優先的に受け付けとします。

→定員を超えての申し込みがあった場合は抽選とします。

申し込みは、メールでも、FAXでも、郵送でもかまいません。

具体的な申込方法は、大阪大学ホームページの案内をご参照ください。

⇒大阪大学ホームページ 教員免許状更新講習

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/teacher/Training>

講習内容

①学校のトイレから学習環境のあり方を考える

小野田 正利 教授

②「いじめ」事件～自分の思いと事実を分けて記録する

学ぶ場において、やる気を起こさせる環境もあれば、逆にやる気が失せてしまう環境があります。「人的学習環境」(人の配置と人間関係)、「時間的学習環境」(リズム・テンポとゆとり)、「物的・空間的環境」(施設整備など)の3つが、どう組み合わせると、よい効果が生まれるのか？ そういった問題を、普段は「そんなのは必要な分だけあればいいだろう」程度でしか考えてこなかった、学校のトイレ(便所)から考えます。

「いじめ防止対策推進法」が施行されて3年がたちます。これによって学校一子ども一保護者関係が大きく変容し、学校の守備範囲は際限なく広がり、時として教師が疲弊していく姿が顕著になりました。私は、この法律は「建て付けが悪く」「子どもの発達や成長を保障するにふさわしいものに改正すべきだ」と言い続けています。それでも現行法として存在する以上は、最低限何をすべきか？ 学校として、そして教師として「事実の記録をとることの意味と重大性」について話します。

③学校現場で役に立つ臨床心理学的見方 —体験型ワークを通して

大前 玲子
大阪大学非常勤講師

不登校・いじめ・ノイローゼ・心身症・発達障がいなど、さまざまな心理的問題を抱えている児童・生徒に対して、教師は、学級担任として、生徒指導・教育相談担当として、特別支援学級担任として・など、さまざまな立場で関わらなければなりません。

教育現場で役に立つカウンセリングの技法を、参加型授業の中でロールプレイのワークを通して疑似体験をすることにより、臨床心理学的な見方、感じ方や知識を少しでも身近なものとしてとらえ、身につけていくことを目指します。

④教育問題を考えるための知識とスキル

知念 渉 助教

いじめ、不登校、問題行動、虐待、学力などの教育をめぐる問題に対して、様々な調査・統計データを用いて現状把握が試みられ、それをもとに教育政策は施行されています。しかし、調査・統計データの収集方法や解釈の仕方を誤ってしまえば、正しい現状把握と対応策を導くことはできません。

この時間では、グループワークを通して具体的なデータの解釈について議論し、教育問題に関する調査・統計データを正しく読み取る知識・スキルを身につけることを目指します。

※1 1日に3つの講習を行います。各講習の番号は講習順とは異なります。

※2 【お願い】昼の弁当を持参してください(昼食時を交流の機会にします)。

※3 東門(阪大病院側)、千里門からお入りください。自家用車でご来場される方は、ご入場時に必ず入構券をお受け取りください。

[問い合わせ先]

大阪大学 教育・学生支援部教育企画課学務係

(TEL) 06-6879-7107 (Mail) koshin-edu@ml.office.osaka-u.ac.jp